

佐賀

地方こそ  
成長の主役

成長



83万県民すべてが活躍できる社会を目指して

自民党佐賀の8つの提案



自民党佐賀政策集

# 83万県民すべてが活躍できる すばらしい佐賀を創る。

## 「地方こそ、成長の主役。」

わが党が再び政権を担当して昨年末で3年が経過しました。自民党はアベノミクスによる「景気回復の実感」を届けるため、経済再生と財政再建の両立実現を着実に進めるべく努めて参りました。

結果、佐賀県における企業の倒産件数は平成に入って最も少ない34件、高卒者の就職内定率は99.2%と平成9年以降で最高の水準、また、直近の有効求人倍率は1.10倍となるなど、着実に持ち直している現状です。

しかし、まだまだ足りていません。佐賀県には誇れる自然、すばらしい伝統文化、美味しい食べ物、そして人情味あふれる人々とのふれあいがあります。

佐賀にはもっと大きな可能性があるはず。「地方こそ、成長の主役。」私たちはそう確信しています。

自民党佐賀は、結党60年を迎えた本年、「政治は国民のもの」との原点に立ち返り、謙虚で丁寧な政権運営を後押しすると同時に、引き続き、「ふるさと佐賀」を大切に思う気持ちを再認識し、83万県民の皆様すべてに「豊かさを実感」していただけるよう努力して参ります。

## 「未来を見据えた佐賀づくり」のため「寄り添う政治」を実行

政治の大きな使命は、皆さんの生命と財産を守り、夢を与えることです。「希望を生み出す強い経済」、「夢を紡ぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」、「努力が報われる農林水産業の実現」等、私たちは未来を見据えた責任ある政治を遂行しなければなりません。

また、突如起こりうる震災等への迅速な対応や、復興の加速化、更には国益を守るための外交・安全保障政策など、国民生活に係る重要課題には、より丁寧な民意の聴取が必要であると考えています。

私たちは、日本、そして佐賀の創生を着実なものとし、健全な状態で「ふるさと佐賀」を後世に引継ぐため、県民の皆様の声に耳を傾け「寄り添う政治」を実行します。

## 8つの提案で 佐賀発! 「地方創生」

勤勉で自立を重んじる私たち日本人は、これまでに培ってきた経験と先人の優れた知恵に学び、「日本らしい日本」を守ってきました。

自民党佐賀は、佐賀創生の8つの提案のもと、「稼ぐ力」「佐賀の総合力」「佐賀県民の知見」を更に引き出し、83万県民すべてが活躍できる社会を目指し、新たな挑戦を始めます。



# 農業先進地「さが」を創る。



佐賀  
創生

## 1 農林水産業

地域経済の活性化・農林水産編



農林水産業は佐賀の主役です。  
より輝く魅力ある産業へ

### 水田農業振興対策・新規就農倍増計画

- 食の安定供給のため、米・麦・大豆・野菜等を安定的に生産できるよう、水田フル活用により農業所得の確保と担い手の育成を実現します。

### 園芸農業対策

- 収益性が高く持続可能な「世界に誇れる園芸農業」の振興と、国内・海外向けの高品質で消費者に支持される新品種の開発や省エネルギー等環境保全型農業の推進に努めます。

### 畜産振興対策

- 安心安全と高品質生産によるブランド確立、耕畜連携による県産飼料の利用増進と資材高騰対策の強化及び、牛肉・豚肉の経営安定対策の充実に努めます。

### 土地改良事業の促進

- 水利施設等の維持管理予算の充実による暗渠排水事業や、クリーク・水路の法面の保全対策等を推進し、大規格化に適応した農地中間管理事業の推進による農地の更なる大区画化を図ります。

### 中山間地等農業振興対策

- 自然景観の保全と高収益品種の推進や、有害鳥獣対策（防護柵）等の整備促進と捕獲者の育成を推進します。

### 水産振興対策

- 有明海、玄海の漁獲量減少の原因究明と水産物加工施設の整備等、経営安定対策を進めます。

### 林業再生対策

- 林業後継者の育成を目指して、高性能林業機械の導入による森林整備と県産木材の利用促進を講じます。

### 新しい時代の農業を創る

- 担い手となる農業者の育成と、集落営農や農業者の法人化を進め、世界に挑戦する新しい農業を推進します。

一人ひとりが働く喜びを実感できる  
「さがづくり」を支援します。



## 佐賀創生 **2** 商工業

地域経済の活性化・商工編

成長戦略は「産業振興」「戦略市場創造」「国際展開」の3本柱です。  
地域経済の再生のため、県民の雇用拡大を図ります。

### 新しい時代の産業おこし

- 東アジアに隣接する地の利を活かし、世界に発信する香港事務所、上海デスクを活用し、国際展開する中小企業の支援を行います。
- 更に、これから必要性が高くなる代替エネルギー分野、農商工連携により佐賀らしさを活かした高付加価値の商品開発を支援します。

### 働く人の希望にかなう雇用の創出

- 働く人の希望にかなう雇用創出を図るため、就労マッチングの支援を強力に推進します。
- 雇用拡大につながる企業誘致や研究機関の誘致を図ります。

### まちのにぎわい創出

- まちのにぎわい創出等に資する事業に対して支援を行い、商業施設及び商業基盤施設等整備事業などのハード事業や、回遊性向上のためのイベントの開催、空き店舗を活用したチャレンジショップの運営などのソフト事業の活性化を図ります。

### 足腰の強い佐賀の商工業

- 焼き物・家具などの伝統的地場産業の振興・新規市場開拓の支援を行うと共に有田焼創業400年事業で生み出されたネットワークを最大限に活用し、県内産業の振興を図ります。
- 更に、ICT活用等による経営の合理化・安定化を目指す地場中小・小規模事業者には税制、金融両面での支援を行います。

### 技術開発の推進・支援

- 技術開発は成長戦略の柱です。県の各種研究機関の充実を図り、民間企業の研究開発を支援します。

### 観光産業の振興

- 佐賀は「食・酒・器・湯・祭・人」などの素晴らしい地域資源を有しています。それらを有機的に結びつけ、新たな雇用を生み出す観光産業の推進を図ります。

自助、自立の精神を基本としつつ、  
誰もが安心して暮らせるまち「さが」を確立します。



## 佐賀創生 3 医療・福祉・介護

住み慣れたまちで、地域と共に、  
自分らしく暮らしていける佐賀を目指します。

### 医療

- 医師、看護師、薬剤師等、質の高い人材の確保に努め、医療体制の更なる充実を図ります。
- 佐賀県民のがん発症を抑制します。
- 過疎地や離島などの不利な地理的条件の下でも医療の質を確保します。

### 福祉・介護

- 障がい者（児）の就労支援を進め、障がい者（児）が夢を持って暮らせる社会づくりを目指します。
- 認知症予防など、要介護者を増やさない取組みを強化し、健康寿命延伸を図ります。
- 家族の介護によって、職を失うことがないように対策を講じます。  
（介護離職ゼロ）
- 必要な介護人材の確保のため、介護士の処遇改善を行います。  
（平成29年度から月額平均1万円相当を改善）
- 本当に必要な方々に十分な支援ができるように、生活保護の不正受給には厳格に対応します。





## 佐賀創生 4 子育て

子どもは社会の宝です。  
子育て支援サービスや子育て環境の整備・拡充を図ります。

### 子どもの成長にあわせてきめ細やかな政策を推進

- 不妊治療にかかる助成の拡充を図ります。
- 周産期医療体制の強化を図ります。
- 延長保育・病児病後児保育を拡充します。
- 保育の待機児童は、平成29年度末までの解消を目指します。
- 引き続き、放課後児童クラブの拡充を図るとともに、その待機児童は、平成31年度末の解消を目指します。
- 必要な保育人材を確保するため、保育士の処遇改善、多様な人材の確保・育成に総合的に取り組みます。  
(保育士給与を平成29年度から月額約6千円、経験者は月額4万円程度を引き上げる)
- 三世帯同居、近居を推進し、リフォーム等の支援を行います。

### 子どもたちは未来の宝。貧困家庭を支援

- 家庭での貧困は、世代間で連鎖する傾向にあります。例えば、朝食を食べる子と食べない子では学力に差が出ると調査もあります。子どもたちがきちんとした生活リズムの中で、学業や運動機会に臨める環境を整えます。
- 経済的な理由で学業を諦めることなく、すべての子どもたちが夢に挑戦できるよう対策を講じます。
- 多子世帯における保育料の減免措置を拡充します。



# 佐賀の歴史と文化に触れ、心豊かな 「さがっ子」を育みます。



## 佐賀創生 **5** 教育・スポーツ

教育に力を注いできた歴史を持つ「佐賀県」。佐賀の未来を担う人財づくりと、たくましく生きる力を養い、心の大事さを求める教育を推進します。

### 地域で、そして世界で輝く子どもたちのために

- 佐賀の歴史、文化を正しく理解し、郷土愛を大切にする教育に力を注ぎます。
- 生きる力を育むために、確かな学力とコミュニケーション能力を高める教育を行います。
- 子どもたちと教職員のふれあいを大切にし、小規模学級、チームティーチング、ICT教育の推進を図ります。
- 幼児教育の無償化に向けた取組みを段階的に進めます。
- 無利子奨学金の充実や、所得により返済を変動させることのないような（所得連動返還型奨学金）制度の導入を進めます。
- 給付型奨学金の創設に向け、検討を進めます。

### すべて県民がスポーツに親しむ環境を

- 平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の佐賀県開催に向けて、選手・指導者の育成、競技人口の拡大や競技施設などの基盤整備を図ります。
- 障害のある人もない人も、あらゆる世代の誰もが、スポーツに出会い、それぞれのスタイルで楽しむことのできる環境づくりを目指します。

※ICT教育：ICT（情報通信技術）を活用した教育は学力向上の有力な手段であり、佐賀県として今後の教育を左右する喫緊の課題であると捉え、現在、ICT機器の整備や学校での実証研究などを進める「先進的ICT利活用教育推進事業」に取り組んでいます。



# 防災・減災を見据えた公共投資から!!

## 「佐賀」の未来は、



佐賀  
創生

## 6 公共投資



佐賀の持続的発展を目指すと共に、  
県民の安全で安心できる生活環境を創出します。

### 真に必要な公共投資とは

- 防災・減災のため、道路、河川、海岸及び地滑り対策等の整備促進を行います。
- 生産効率向上のための農林業、漁業の基盤整備を行います。
- 県内の経済発展のための高規格道路のネットワーク化を図ります。
- 地域課題に適応した県民の安全・安心のための道路整備を行います。
- 産業・県内雇用の拡大に結びつく企業誘致や研究機関の誘致に不可欠な工業用地の確保を行います。
- 県内産業を促進するための港湾整備を行います。
- 公共施設等の耐震化対策を行います。
- 中長期的な建設業の担い手確保に取り組めます。





# みんなの願い！ 有明海の再生



佐賀  
創生

## 7 宝の海・有明海の再生

諫早湾干拓問題



**いま、有明海がピンチです。  
自民党にはかつての宝の海を取り戻す責任が  
あります。**

### 諫早湾干拓問題

- 福岡高裁開門確定判決から5年が経過し、その間、漁業被害は深刻さを増しています。一日も早い開門調査が実現するよう強く求めていきます。
- 有明海沿岸4県が、宝の海・有明海の再生に向けた協議を加速させ、干拓地での営農を損なうことなく、農業者と漁業者の双方が成り立つ解決策を求めていきます。
- 開門調査が実現するまでの間、調整池からの排水はできるだけ少量、かつこまめな排水を行うなど、丁寧な運用を強く求めていきます。

### 有明海の再生策

- 有明海の生育環境の改善対策として、ナルトビエイの駆除、貝殻散布、海底耕運等の事業を継続します。
- 海苔の生産は順調であったものの、タイラギ、赤貝、アゲマキ等の2枚貝は、依然厳しい状況であり、調査、研究の下、再生を実現します。
- 有明海で獲れる優れた海産物や景観を生かし、観光振興を図ります。

鍵となるのは、エネルギーの安定供給です。私たちの暮らしを守り、佐賀の成長の



## 佐賀創生 8 エネルギー

バランスの取れた多様なエネルギー源を確保することが、エネルギーの安定供給に繋がります。

**「安定した基幹エネルギー」の確保が必要不可欠です!**

### 安定した基幹エネルギーの確保

- 火力については、地球温暖化の原因となるCO<sup>2</sup>の削減対策を更に進めます。
- 原子力については、安全性の確保をすべてに優先し、原子力規制委員会により世界で最も厳しい水準の規制基準に適合すると認められたものについては、立地自治体の同意を前提に、その判断を尊重し再稼働を進めます。なお、発電事業者に対しては、原子力発電の自主的安全性向上や、防災対策の強化を強く求めます。

### 安心できる再生可能エネルギーの普及・推進

- 太陽光については、国民負担を抑制し、電源間のバランスの取れた最大限の導入を図ります。
- 風力、水力、地熱など、多様な再生可能エネルギーの導入を加速させると共に、海洋エネルギー等の新たな自然エネルギーの活用を目指します。
- 小水力、バイオマス、風力等、小規模な再生可能エネルギー源を組み合わせた分散型エネルギーシステムを構築するなど、エネルギーの地産地消を目指します。

### 省エネルギーの推進

- 住宅等、中小企業の省エネ化支援や次世代自動車の普及を進めます。

### 技術革新によるエネルギーの創出

- 水素社会の実現を目指します。
- 蓄電システムの利用促進を目指します。

それぞれの利点と課題を考慮し、**ベストミックス**を目指します。



「一億総活躍社会」それは、「女性も男性も、失敗を経験して再チャレンジする人も、障害や難病のある人も、誰もが活躍できる社会」、「若者や子供は夢を持ち、お年寄りは安心感を持てる社会」をつくることです。

自民党は、引き続き「アベノミクス」を断行します。主役は、全国各地にお住まいの皆さんです。

私たちは皆さまと共に英知を結集し、あらゆる政策を総動員して、日本の再生に向けてひたすら邁進していく決意です。自民党にその挑戦を任せて下さい。

## 佐賀空港の陸上自衛隊配備要請に関する対応

近年、国際情勢は不安定さを増し、また、中国による尖閣列島への領海侵犯や南沙諸島占領など、近隣国の度重なる行動は国際社会の平和と安全に対する脅威となっています。

このような中、中期防衛力整備計画に基づく島嶼防衛の一環として、佐賀空港への陸上自衛隊配備要請がなされています。

「国防」は我が国の独立と平和、そして、国土と国民の生命・財産を守るものであり、佐賀県も国の構成団体として、国防に貢献する役割を当然有しており、また、災害時における緊急対応を考えた時、その有用性についても理解できるところであります。

一方で、この度の要請事案が県民の安全で安心な暮らし、漁業や農業等の環境に著しく影響を及ぼさないか、示された全体像をしっかりと検証しなければなりません。

自民党佐賀は、配備要請に慎重な声、前向きな声と両論があることを認識し、そうした声にしっかりと耳を傾けながら議論を進めて参ります。

## 九州新幹線西九州ルート of 整備推進

- 平成28年3月29日に関係6者により合意された「九州新幹線（西九州ルート）の開業のあり方に係る合意」に基づく事項について、確実に実現します。（武雄温泉駅での対面乗換方式により、平成34年に暫定開業を行うことなど）
- また、西九州ルート of 全線開業に向け、フリーゲージ等の着実な技術開発の推進を行うとともに、山陽新幹線への乗り入れに支障を及ぼさない最高時速300km走行が可能となるよう、技術開発の推進を要請していきます。

## 「自主憲法の制定」は自民党の使命です。

- わが党は、平成24年に憲法改正草案を提示しています。
- 日本らしい日本の姿を示し、世界に責任を果たす国のかたちの基本を明確にします。
- 国民の理解を得つつ、憲法改正原案を国会に提出、国民投票を実施し、憲法改正を目指します。
- また、自民党佐賀は、選挙制度改革において、「一票の格差」の視点に留まらず、都道府県単位の制度が堅持されるよう求めていきます。

## 国益そして国民の安全・安心を断固として守ります。

- 国際秩序が揺らぎ、日本を取り巻く安全保障環境がいつそう厳しさを増す中で、国民の命や平和な暮らし、領土、領海、領空を守り抜くための切れ目ない対応を行う、それが「平和安全法制」の意義です。
- 沖縄の基地負担軽減に努めます。
- 友好国との防衛協力推進による抑止力、国際貢献の向上のため、更に防衛力の質と量を確保します。
- 国内の治安、テロ対策にも万全の体制を構築します。
- 東日本大震災や熊本地震等、災害復興は迅速な政治対応が必要不可欠であると再認識したことから、引き続きニーズに沿った対応と併せ、事前の防災、減災対策のための国土強靱化に努めます。



このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

自由民主党佐賀県支部連合会 〒840-0054 佐賀市水ヶ江一丁目8番17号